

令和2年度第7回

公立大学法人公立はこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和2年9月28日(月) 15:00～16:08
- 2 場 所 公立はこだて未来大学講義室493 (オンライン同時開催)
- 3 出席者
委 員：片桐学長(議長)、平田副学長(理事)、川嶋副理事長、佐藤(任)事務局長(理事)、三上副学長(情報ライブラリー長)、鈴木(恵)副学長(社会連携センター長)、稲村研究科長、木村学科長、佐藤(直)学科長、富永メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
オブザーバー：白石情報システムコース長、長崎高度ICTコース長、鈴木(昭)教務委員長、迎山学生委員長、中小路学術連携室長
事 務 局：杉村企画総務課長、相馬財務・研究支援課長、亀田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

① 訪問研究員の受入れについて

- ・ 中小路学術連携室長から、資料1に基づき説明があり、原案のとおりに了承された。

(2) その他

① 2020前期 授業フィードバック集計(途中経過報告)

- ・ 富永メタ学習センター長より、当日配布資料に基づき、20人以上回答のあった授業フィードバックについて説明があった。今後は、主観評価と客観評価(成績)をまとめて教員に周知することとなった。

② 松原仁特任教授の大学院学生の主指導担務について

- ・ 稲村研究科長より、当日配布資料に基づき大学院学生の主指導担務について説明があり、意見交換がされた。規程や申し合わせについて、今後再検討することとなった。

③ 教務委員会からのお知らせ

- ・ 鈴木(昭)教務委員長より、後期の対面授業に向けて、学生向けの受講ガイドおよびグループワークガイドラインはすでに承知済みであり、教員向けの留意事項は教授会までに周知する予定である旨の報告があった。来年度のシラバスを作成するにあたり、次年度の方針について質問があり、片桐学長より後期の対面授業の様子や感染状況を見ながら検討する旨の回答があった。

④ 学生向けeラーニングについて

- ・ 川嶋副理事長より、学生向けの感染症対策のeラーニングを作成したので、学生

へ周知予定である旨の報告があった。

⑤ 学生への経済的支援について

- ・ 片桐学長より，文科省の新型コロナウイルス感染症対策臨時支援事業について大学の対応を検討中で，現状把握のために学生へ調査を進める予定であるが，学生の状況について把握していることが何かあれば連絡がほしい旨依頼があった。